

三重県プライマリ・ケア エキスパートナー ス 認証プログラム 2024

三重県プライマリ・ケアセンター

三重県プライマリ・ケアエキスパートナース認証プログラムの運用について

2024/10

プログラムに取り組まれる方は、下記をお読みになって進めてください。

日本看護協会看護師クリニカルラダーレベルⅢ（ケアの受け手に合う個別的な看護が実践できるレベル）相当以上かつ三重県内で看護職として就業していることが条件となります。

1. このプログラムへの取り組みを希望される方は、必要事項を登録用紙に記入し返信用封筒（角 2 封筒）に切手 270 円分を貼付したものを同封し、三重県プライマリ・ケアセンターまで郵送してください。センターに登録後、プログラムに係る書類一式を送付します。
2. プログラムへの取り組みについて
 - ・具体的な方法はプログラムに記載されています。特に期間は設けていませんのでご自分のペースで進めてください。
 - ・自施設以外での実習については、ご自分で選択し交渉してください。その際、所属長に了承を得ていただくことを推奨いたします。実習は必ずしも実践することは求めています。実習先の看護師との交流において、できると確認がとれたものは「できる」と判定してもよいです。
 - ・実習におけるトラブル等に関しましては、センターは一切責任を負いません。
 - ・推薦者となる所属長等が不在の場合は、センターにお問い合わせください。
 - ・プログラムは随時更新します。更新した際は、登録中の方には新プログラムを提供します。旧プログラムで認定を申請される方は、新プログラムが発行されて半年以内に修了してください。
 - ・登録や認定に関して費用は発生いたしません。
3. 修了認定について以下の条件が必要です。
 - ・三重県プライマリ・ケアエキスパートナース研修会に 3 回以上出席している。
 - ・プログラムの 8 割以上が「できる」に達している。ただし、態度の項目はすべてが「できる」に到達していること。
 - ・プライマリ・ケアの理念をもとにレポートを作成し基準に達していること。
 - ・所属長等の推薦書。

プライマリ・ケアエキスパートナース委員会にて、審査により修了と認定されましたら修了認証書を発行いたします。

4. 認定取得後の活動について
 - ・プライマリ・ケアエキスパートナースとして地域で活動し、保健・医療・福祉の連携促進に寄与することが期待されます。
 - ・日々の活動内容を三重県プライマリ・ケアエキスパートナース研修会などで報告し、県内のエキスパートナースのネットワーク作りに参加されることが期待されます。

《プログラムに関する連絡先》 ＊可能な限りメールでの連絡をお願いいたします。

三重県プライマリ・ケアセンター（県立一志病院内）

問い合わせ先：県立一志病院 看護部長室

〒515-3133 三重県津市白山町南家城 616

Tel 059(262)0600

Fax 059(262)3264

E-mail mieprimarycare@gmail.com

プライマリ・ケアエキスパートナース認証プログラム

このプログラムは、プライマリ・ケアを実践できるプライマリ・ケアエキスパートナースを認証することで多職種と連携しつつ地域医療のリーダーとなり、県内特に医療過疎地域の地域包括ケアシステムの推進に寄与することを目的とする。

1. プライマリ・ケアとは

国民のあらゆる健康上の問題、疾病に対し、総合的・継続的、そして全人的に対応する地域の保健医療福祉機能と考える。

2. プライマリ・ケアの特徴を表す5つの理念について

I. Accessibility (近接性)

1. 地理的 (足を運びやすいかかりやすさ)
2. 経済的 (費用が予測できる)
3. 時間的 (夜間の対応など時間的なかかりやすさ)
4. 精神的 (行き届いた声掛け)

II. Comprehensiveness (包括性)

1. 予防から治療, リハビリテーションまで
2. 全人的医療
3. Common disease を中心とした全科的医療
4. 小児から老人まで

III. Coordination (協調性)

1. 専門医との密接な関係
2. チーム・メンバーとの協調
3. Patient request approach (住民との協調)
4. 社会的医療資源の活用

IV. Continuity (継続性)

1. 「ゆりかごから墓場まで」
2. 病気の時も健康な時も
3. 病気の時は外来-病棟-外来へと継続的に

V. Accountability (責任性)

1. 医療内容の監査システム
2. 生涯教育
3. 患者への十分な説明

— 1996 年 米国医学研究所 IOM (現 HMD)

Primary care : Americas health new era —

3. プライマリ・ケアエキスパートナースとは

身近にあってなんでも相談にのれる総合的な看護を提供し、地域を大切にする心を持ちながら、地域に貢献する看護師と定義する。医療過疎地域で小規模な施設における看護師は、細分化された領域の専門性を求められているわけではなく、複合的な問題を抱え何が起こるかわからない現状で状況に応じて柔軟に対応する幅広い能力が求められている。その地域や対象者のニーズに応じて看護領域の専門性を高める縦軸とシームレスケアを目指す横断的な幅を示す横軸とを常に広げたり、深めたりすることが期待される。(図1)

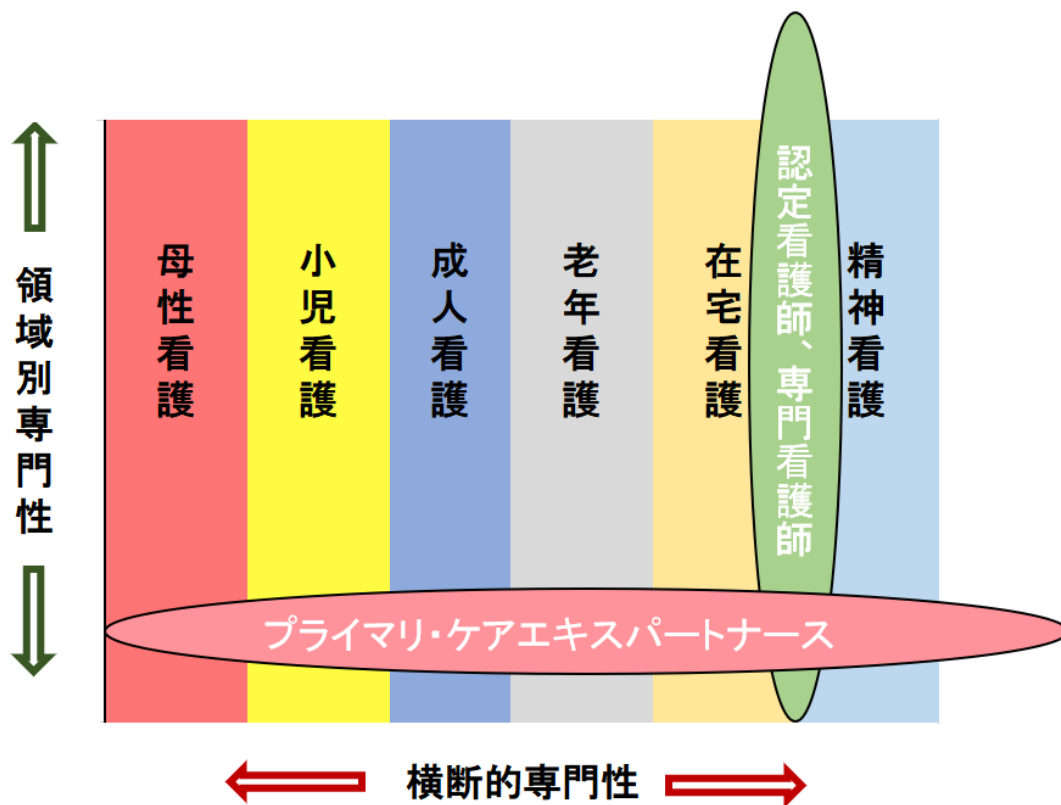
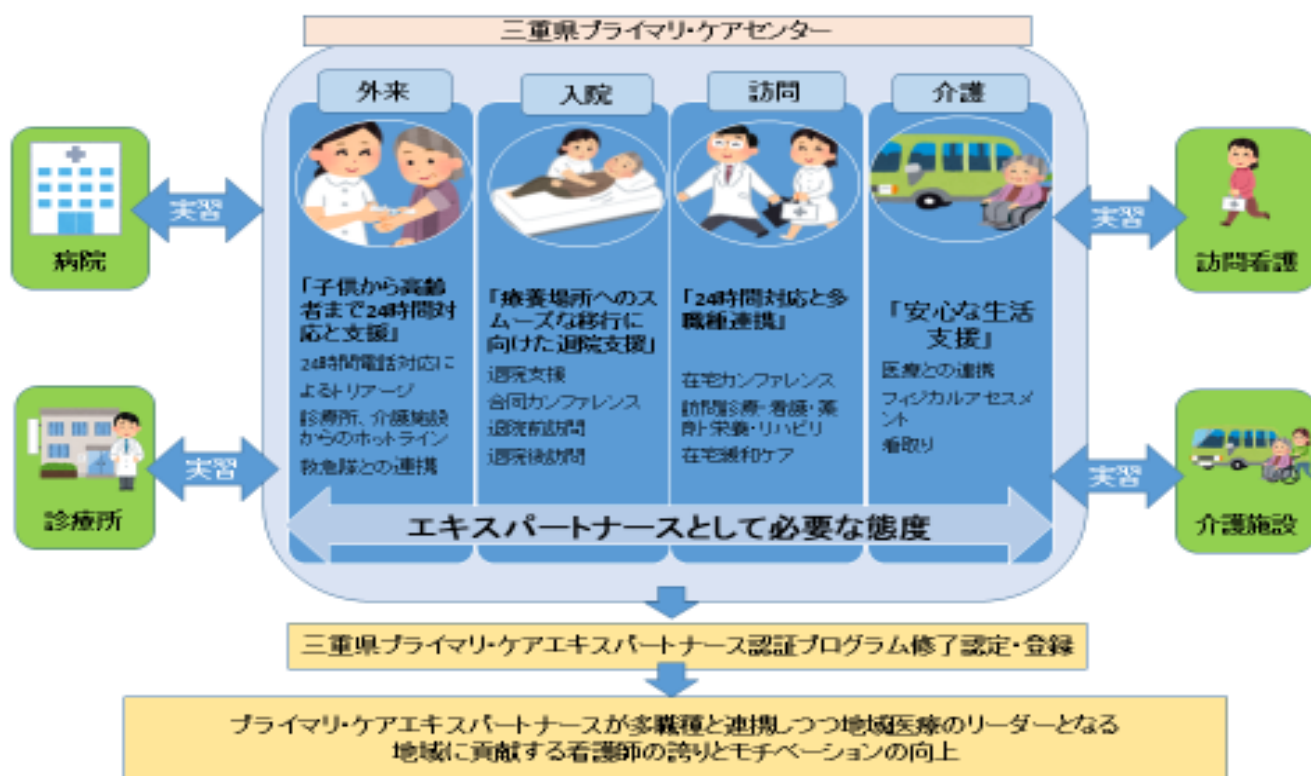


図1 知識・技術（看護学）からみた位置づけ（イメージ）

4. プログラムの内容

- 1) 対象者：看護師 日本看護協会看護師クリニカルラダーレベルⅢ（ケアの受け手に合う個別的な看護が実践できるレベル）相当以上かつ三重県内で看護職として就業していること
- 2) 到達目標
総合的かつ横断的な看護活動の提供と保健・医療・福祉の連携を促進し、医療過疎地域における住民の安心な暮らしを支援する。
- 3) プログラムの特徴
 - (1) プライマリ・ケアエキスパートナースとして最も必要な態度に関しては、習得を必須としている。
 - (2) 知識においては、プライマリ・ケアとして幅広い看護の視点を学習する入り口としている。
 - (3) 技術においては、実践能力に焦点をあてた構成になっている。
外来機能、入院機能、訪問機能、介護機能においてプライマリ・ケアエキスパートナースとして必要な項目を実践することを主に構成されている。
 - (4) 受講者が主体となりプログラムを組み、「できていない」項目のみ学習や実習をする選択式である。
 - (5) 地域で自ら実習施設が選択でき、実習時間の規定がない。
 - (6) 日本看護協会看護師クリニカルラダーレベルⅣ「幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する」、レベルⅤ「より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する」に対応する内容である。

プライマリ・ケアエキスパートナース認証プログラム



4) プライマリ・ケアエキスパートナース看護知識・技術・態度評価表の使用方法およびレポートについて

(1) 知識・技術・態度の評価

項目ごとに「できる」「指導の下でできる」「できない」で自己評価を行う。
態度の自己評価については全項目「できる」に達することを必須とする。
評価項目の(*)は「できる限り習得することが望ましい」を示す。

(2) レポートについて

プライマリ・ケアの5つの理念である近接性、包括性、協調性、継続性、責任性に基づく看護実践をA4用紙1枚程度にまとめる。
内容は①テーマ②対象の概要③対応を必要とした看護上の問題と課題④具体的な活動内容と結果⑤評価を記載する。ただし、理念である5つのワード（近接性、包括性、協調性、継続性、責任性）から2つ以上をキーワードとして記載すること。

5) 推薦状について

原則として職場の所属長などに依頼する。所属長などが不在の場合はセンターにご相談ください。

6) 修了認定の条件

- ・評価表「態度」に関しては全項目A:「できる」に達している。
- ・評価表「知識・技術」の項目で8割以上がA:「できる」に達している。
- ・推薦状の提出
- ・レポートが合格ラインに達している。
- ・三重県プライマリ・ケアエキスパートナース研修会に3回以上出席している。

5. 認証書交付について

評価表、レポート、推薦状を添えて三重県プライマリ・ケアセンターに送付する。
審査により修了と認定されたものに認証書を発行する。